

基本方針1 市町村とともに小・中学校の教育力を充実します

【基本的方向】

- ① 市町村の主体的な取組みを支援するとともに、課題のある学校への重点的な支援を行い、子どもをしっかりと伸ばす学校力の向上を図ります。
- ② 教育内容の充実や授業改善などへの支援をすすめ、「基礎・基本」の確実な定着と「活用する力」の向上を図り、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくみます。
- ③ 学校教育全体を通して、互いに高めあう人間関係づくりをすすめます。

【主な取組み】

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
①	中学校の学校力向上へ向けた重点支援 （スクール・エンパワーメント推進事業 ＜参考資料 P131＞） （中学生学びチャレンジ事業＜参考資料 P132＞）	学力向上に積極的に取り組む府内 84 中学校に学力向上担当教員を配置するとともに、府教育委員会に設置した「支援チーム」が学校の取組みを検証し、市町村教育委員会とともに指導・助言を行った。 また、学力向上の対策を重点的に推進する市町村に対し、学力向上計画の実行にかかる経費の2分の1を補助するとともに、対象市町村の計画の進捗状況について点検し、指導・助言を行った。 中学生の学力向上を目的として、府内の市町村立中学校及び支援学校1、2年生を対象に、学力調査を実施した。 また、各中学校が、生徒の学習内容の定着状況を把握し、その必要度合いに応じて活用できる教材を府 Web ページに掲載した。
	少人数学級編制の推進 （35人を基準とした少人数学級編制＜参考資料 P132＞）	学校生活の基礎を築くためには、きめ細かな少人数での指導が重要であると考え、小学校1年生は標準法による基礎定数、小学校2年生は国加配定数を活用し、35人を基準とした少人数学級編制を実施した。
	少人数・習熟度別指導の推進 （習熟度別指導推進事業＜参考資料 P132＞）	児童・生徒の学習理解を促進するため、中学校、小学校3年生以上において、少人数・習熟度別指導を実施した。

基本的方向	具体的取組名（事業名）	実施内容
②	授業改善への支援 （市町村研修支援プロジェクト・校内研究支援プロジェクト ＜参考資料 P133＞）	市町村教育委員会の体系的な研修の実施を支援するため、授業づくりセミナー及びICT活用研修に府教育センターの指導主事を研修講師として派遣した。また、府教育センター及び市町村教育委員会の指導主事並びに授業改善等の校内研究に取り組む学校の教員で構成するワーキングを設置し、授業研究や校内研究の推進に取り組んだ。
	英語教育の充実 （英語教育推進事業＜参考資料 P134＞）	小学校初期段階から中学校にかけて英語教育の充実を図るため、小学校では府内16小学校を研究協力校に指定し、英語の「綴り字」と「発音」との関係を重視したいわゆるフォニックスを活用した指導についての実践研究を実施するとともに、その成果や課題を生かして、民間事業者と共同で「英語学習パッケージ」の開発に着手した。また、中学校では、府内7中学校を研究協力校に指定し、洋書を活用した指導方法についての実践研究を行った。
③ 【基本方針4 基本的方向④の 再掲】	道徳教育の推進（＜参考資料 P136～P137＞）	小・中学校については、道徳の時間の積極的な地域等への公開や道徳教育公開講座を通じた家庭・地域との連携の推進について市町村教育委員会に指導・助した。また、33市町111中学校区を推薦指定校区に指定し、道徳教育公開講座や道徳の授業づくり研修会の開催を推進した。府立高校については、各校が作成する道徳教育の全体計画に基づき、学校の教育活動全体を通じて道徳教育を推進することを周知した。
	人権教育の推進（＜参考資料 P138＞）	小・中学校については、市町村教育委員会と連携し、人権教育教材集・資料を活用した研修を実施するとともに、人権教育フォーラムを実施した。府立高校については、共同研究校25校、共同研究員・研究協力員182人の体制により、研究交流会議やテーマ別研修会等を開催した。

【指標の点検結果】 ※全国学力・学習状況調査に係る指標については、当該年度の状況が次年度の結果に反映されるため、「計画策定時の現状値」及び「実績値」には次年度の結果を記載

指標	目標値 (H29 年度)	H24 年度実績値 (計画策定時)	H26 年度実績値	点検結果																																																																					
○指標1 「全国学力・学習状況調査」における平均正答率	小6 全国水準を上回る	小6 <table border="1" data-bbox="649 303 1153 558"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>62.7</td> <td>61.2</td> <td>0.976</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>49.4</td> <td>47.9</td> <td>0.970</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>77.2</td> <td>77.1</td> <td>0.999</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>58.4</td> <td>57.3</td> <td>0.981</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p>		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	62.7	61.2	0.976	国語B	49.4	47.9	0.970	算数A	77.2	77.1	0.999	算数B	58.4	57.3	0.981	小6 <table border="1" data-bbox="1187 303 1691 558"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>70.0</td> <td>67.6</td> <td>0.966</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>65.4</td> <td>62.7</td> <td>0.959</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>75.2</td> <td>74.8</td> <td>0.995</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>45.0</td> <td>44.1</td> <td>0.980</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p> <p>△</p> <p>H25 年度実績 (H26.4 調査実施)</p> <table border="1" data-bbox="1187 678 1691 933"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>72.9</td> <td>70.7</td> <td>0.970</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>55.5</td> <td>52.6</td> <td>0.948</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>78.1</td> <td>77.3</td> <td>0.990</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>58.2</td> <td>56.3</td> <td>0.967</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p>		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	70.0	67.6	0.966	国語B	65.4	62.7	0.959	算数A	75.2	74.8	0.995	算数B	45.0	44.1	0.980		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	72.9	70.7	0.970	国語B	55.5	52.6	0.948	算数A	78.1	77.3	0.990	算数B	58.2	56.3	0.967	小6 計画策定時に比べ、い ずれも平均正答率の 対全国比に改善が見 られなかった。
				平均正答率 (%)																																																																					
国	府		対全国比 (注)																																																																						
国語A	62.7	61.2	0.976																																																																						
国語B	49.4	47.9	0.970																																																																						
算数A	77.2	77.1	0.999																																																																						
算数B	58.4	57.3	0.981																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	70.0	67.6	0.966																																																																						
国語B	65.4	62.7	0.959																																																																						
算数A	75.2	74.8	0.995																																																																						
算数B	45.0	44.1	0.980																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	72.9	70.7	0.970																																																																						
国語B	55.5	52.6	0.948																																																																						
算数A	78.1	77.3	0.990																																																																						
算数B	58.2	56.3	0.967																																																																						

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H26年度実績値	点検結果																																																																					
○指標1 「全国学力・学習状況調査」における平均正答率	中3 全国水準をめざす	<p>中3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>76.4</td> <td>73.3</td> <td>0.959</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>67.4</td> <td>63.0</td> <td>0.935</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>63.7</td> <td>61.7</td> <td>0.969</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>41.5</td> <td>38.8</td> <td>0.935</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p>		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	76.4	73.3	0.959	国語B	67.4	63.0	0.935	数学A	63.7	61.7	0.969	数学B	41.5	38.8	0.935	<p>中3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>75.8</td> <td>74.4</td> <td>0.982</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>65.8</td> <td>64.8</td> <td>0.985</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>64.4</td> <td>64.3</td> <td>0.998</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>41.6</td> <td>41.4</td> <td>0.995</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p> <p>(H25年度実績 (H26.4調査実施))</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平均正答率 (%)</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>府</th> <th>対全国比 (注)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>79.4</td> <td>77.0</td> <td>0.970</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>51.0</td> <td>47.2</td> <td>0.925</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>67.4</td> <td>65.0</td> <td>0.964</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>59.8</td> <td>56.9</td> <td>0.952</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 全国平均正答率を1とした場合の府平均正答率の割合</p>		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	75.8	74.4	0.982	国語B	65.8	64.8	0.985	数学A	64.4	64.3	0.998	数学B	41.6	41.4	0.995		平均正答率 (%)			国	府	対全国比 (注)	国語A	79.4	77.0	0.970	国語B	51.0	47.2	0.925	数学A	67.4	65.0	0.964	数学B	59.8	56.9	0.952	<p>中3</p> <p>計画策定時に比べ、いずれも平均正答率の対全国比は改善した。特に、数学については全国水準となった。</p> <p>○</p>
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	76.4	73.3	0.959																																																																						
国語B	67.4	63.0	0.935																																																																						
数学A	63.7	61.7	0.969																																																																						
数学B	41.5	38.8	0.935																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	75.8	74.4	0.982																																																																						
国語B	65.8	64.8	0.985																																																																						
数学A	64.4	64.3	0.998																																																																						
数学B	41.6	41.4	0.995																																																																						
	平均正答率 (%)																																																																								
	国	府	対全国比 (注)																																																																						
国語A	79.4	77.0	0.970																																																																						
国語B	51.0	47.2	0.925																																																																						
数学A	67.4	65.0	0.964																																																																						
数学B	59.8	56.9	0.952																																																																						
○指標2 「全国学力・学習状況調査」における無解答率	小6：全国水準を下回る 中3：全国水準をめざす	<p>小6：8.4% (全国：8.1%) 中3：8.6% (全国：6.8%)</p>	<p>小6：5.5% (全国：5.2%) 中3：6.1% (全国：6.0%)</p> <p>(H25年度実績)</p> <p>小6：4.7% (全国：4.2%) 中3：7.0% (全国：5.5%)</p>	<p>計画策定時に比べ、小6については、概ね全国水準で変わりなく、中3については、全国平均との差が大きく縮小し、全国水準となった。</p> <p>○</p>																																																																					

指標	目標値 (H29年度)	H24年度実績値 (計画策定時)	H26年度実績値	点検結果
○指標3 「家で計画的に 学習する」と回 答した児童・生 徒の割合	向上させる	小6 : 49.7% (全国 : 58.9%) 中3 : 42.3% (全国 : 44.5%)	小6 : 52.9% (全国 : 62.8%) 中3 : 48.1% (全国 : 48.8%) 〔 H25年度実績 小6 : 51.1% (全国 : 61.0%) 中3 : 44.8% (全国 : 46.6%) 〕	○ いずれも計画策定時 の実績を上回った。
○指標4 「児童・生徒は 熱意を持って勉 強している」と 回答した学校の 割合	向上させる	小6 : 20.9% (全国 : 22.6%) 中3 : 13.6% (全国 : 19.7%)	小6 : 26.2% (全国 : 24.7%) 中3 : 22.3% (全国 : 21.7%) 〔 H25年度実績 小6 : 21.8% (全国 : 22.6%) 中3 : 16.3% (全国 : 19.4%) 〕	○ いずれも計画策定時 の実績を上回った。
○指標5 「自分には良い ところがある」 と回答した 児童・生徒の 割合 【基本方針4 指標27の再掲】	向上させる (全国水準をめざ す)	小6 : 73.0% (全国 : 75.7%) 中3 : 60.2% (全国 : 66.4%)	小6 : 73.3% (全国 : 76.4%) 中3 : 63.5% (全国 : 68.1%) 〔 H25年度実績 小6 : 73.6% (全国 : 76.1%) 中3 : 61.2% (全国 : 67.1%) 〕	△ 小6については計画 策定時の実績を上回 ったが、全国平均との 差は拡大した。 中3については、計画 策定時の実績を上回 り、全国平均との差も 縮小した。
○指標6 「人の気持ちか わかる人間にな りたい」と回答 した児童・生徒 の割合 【基本方針4 指標28の再掲】	向上させる	小6 : 91.7% (全国 : 93.0%) 中3 : 92.5% (全国 : 94.2%)	小6 : 92.5% (全国 : 93.9%) 中3 : 94.1% (全国 : 94.9%) 〔 H25年度実績 小6 : 93.1% (全国 : 94.4%) 中3 : 93.9% (全国 : 95.3%) 〕	○ いずれも計画策定時 の実績を上回った。

【自己評価】

- ① 市町村の主体的な取組みを支援するとともに、課題のある学校への重点的な支援を行い、子どもの力をしっかり伸ばす学校力の向上を図ります。
- ② 教育内容の充実や授業改善などへの支援をすすめ、「基礎・基本」の確実な定着と「活用する力」の向上を図り、すべての子どもにこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくみます。
- ・「全国学力・学習状況調査」における平均正答率については、計画策定時の実績と比較すると、小学校では改善が見られなかったが、中学校においては改善し、特に、数学は全国水準となった。
 - 前年度と比較した場合においては、小学校においては、国語 B 区分、算数 AB 区分に改善が見られたが、国語 A 区分には改善が見られなかった。また、理科については、前回（平成 24 年度実施）より全国平均との差が拡大した。中学校においては、国語、数学の AB 区分に改善が見られた。また、理科については、前回より改善は見られたものの依然として全国平均との差は大きい状況である。
 - 無解答率については、計画策定時の実績と比較すると、小学校においては概ね全国水準で変わりなく、中学校では全国水準にまで改善した。
 - 今後、各市町村の状況も含め、調査結果の分析を進め、成果のあった取組みの更なる普及とともに、明らかになった課題の改善に向けた取組みを一層進めていく。
 - ・学習状況調査結果からは、学力調査等の結果を学校の教育活動の改善のために活用した小中学校の割合が全国を上回った。また、学習規律の維持・徹底に取り組むとともに、授業が落ち着いていると回答した学校が増加した。一方、授業以外の学習時間が少ない子どもの割合は、依然、全国平均との差が大きく、更なる取組みが必要である。
 - ・これからの社会で求められる確かな学力の一つとして、研究協力校の小学校 1 年生から 6 年生までの全学年でフォニックスを活用した英語学習を実施し、「英語学習パッケージ」の開発に取り組むとともに、小学校で育んだ力を中学校でさらに伸ばすため、洋書を活用した英語学習の実践研究を行い、英語教育改革を推進した。
- ③ 学校教育全体を通して、互いに高めあう人間関係づくりをすすめます。（基本方針4 基本的方向④の一部再掲）
- ・小・中学校については、市町村教育委員会と連携した人権教育研修を実施するとともに、家庭・地域と連携した道徳教育をより一層推進してきた。これらの成果として、「自分には良いところがある」と回答した小学校 6 年生の割合の全国平均との差が拡大したものの、同回答を行った中学校 3 年生の割合の全国平均との差は縮小し、また、「人の気持ちがわかる人間になりたい」と回答した児童・生徒の割合も計画策定時の実績を上回った。

【評価審議会における審議結果】

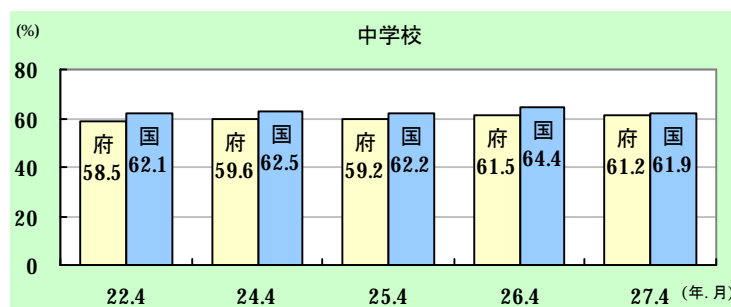
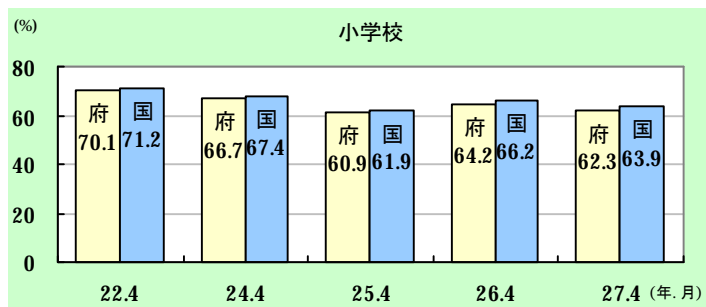
○府の点検及び評価結果は、概ね妥当である。

【基本的方向①及び②について】

- 全国学力・学習状況調査の結果については、小学校における平均正答率が計画策定時と比べると改善が見られないことや、「学校の授業時間以外での学習時間」が少ない子どもの割合が全国平均との差が大きいなど、依然厳しい状況である。しかし、中学校における平均正答率や無解答率に改善が見られるなど、府教育委員会の取組みが着実に成果として出始めている点は評価できる。今後は、どのような取組みが成果に結びついているのかを検証し、施策に活かしていくことが重要である。
- 全国学力調査における平均正答率について、昨年度と比較して小学校での算数では数値が伸び、中学校の数学では全国平均にまで改善した点については、小学校において、つまずき要因を明らかにしながら指導を積み重ねてきた取組みの成果でもあると見ることできる。一方、国語は子どもにとってすべての学びの基礎となるものであるが、全国学力調査における平均正答率の結果が低下傾向にある点が課題であり、取組みが必要である。
- すべての子どもにとってこれからの社会で求められる確かな学力をはぐくんでいくためには、公私を問わず、幼小中高における教育の接続・連携を強力に推進していくことが必要である。
そのなかで、現在、府教育委員会が取り組んでいる英語教育の充実の取組みに当たっては、小・中学校間で子どもの学びの連続性が確保されるよう取り組む必要がある。
- 子どもの学習状況に応じて、小学校1・2年生については少人数学級編制を、小学校3年生以降については習熟度別指導を行っている点は評価できるが、習熟度別指導についてはその実態把握と成果検証を行い、成功事例を普及させていく必要がある。

(参考)

◆指標1「全国学力・学習状況調査」における平均正答率

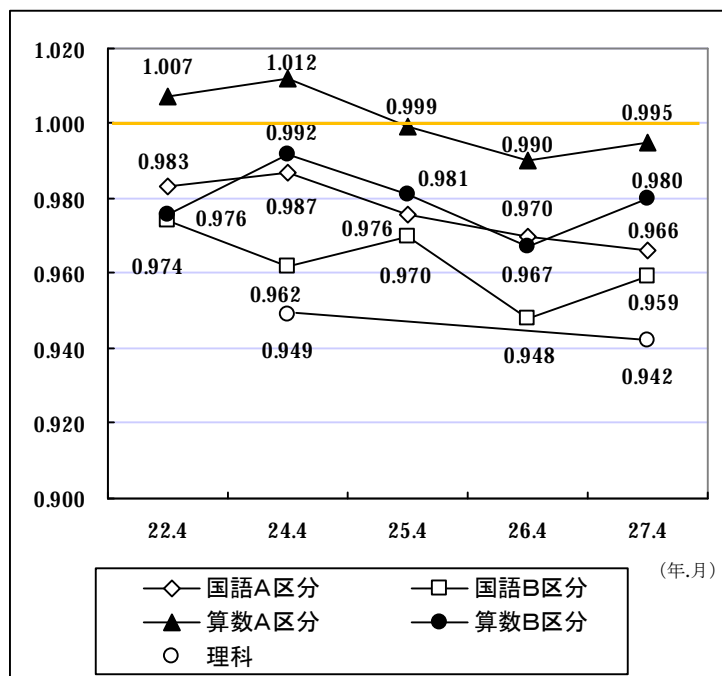


H22、24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む抽出調査)
H25～27年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

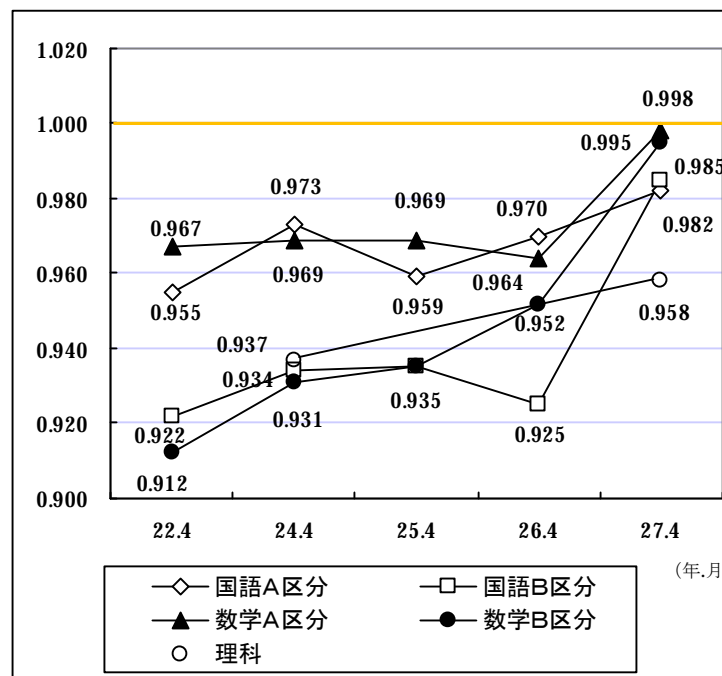
※国語、算数(数学)の各区分の平均正答率の平均

【校種・教科・区分別 正答率/対全国比経年比較】

小学校



中学校



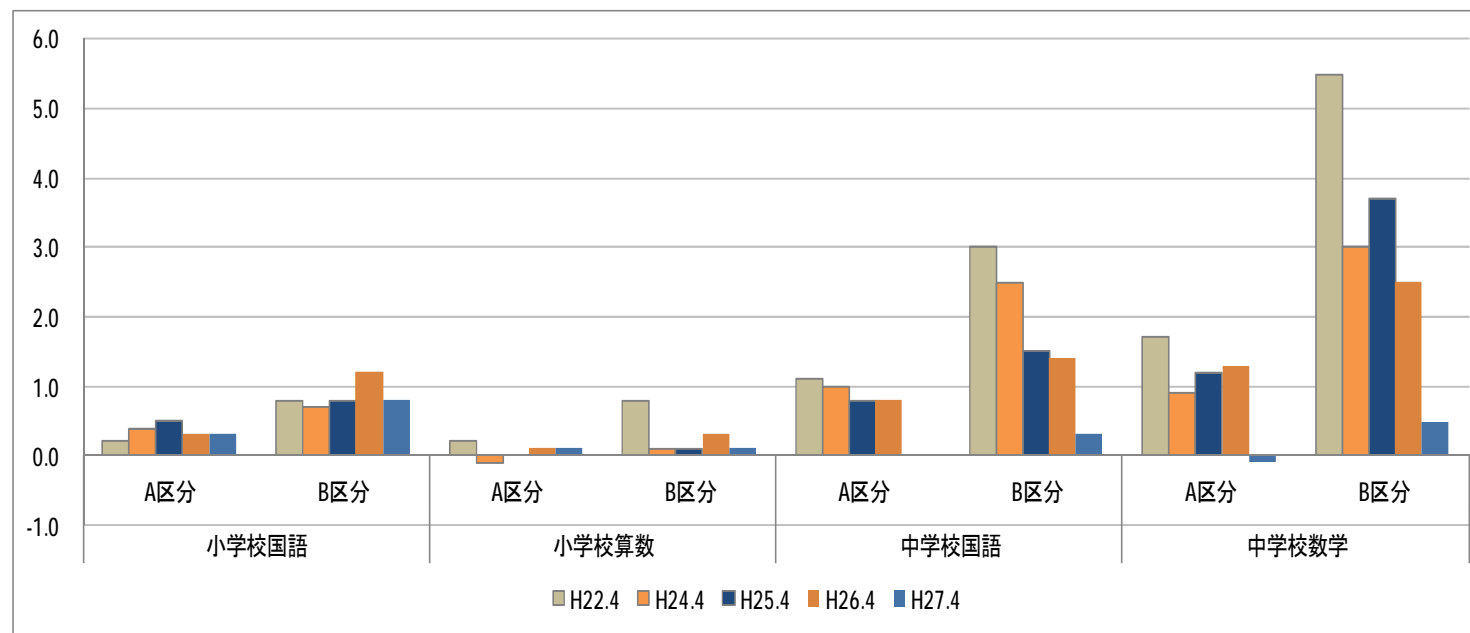
※全国平均正答率を1とした場合の
府平均正答率の割合

◆指標2 「全国学力・学習状況調査」における無解答率

(%)

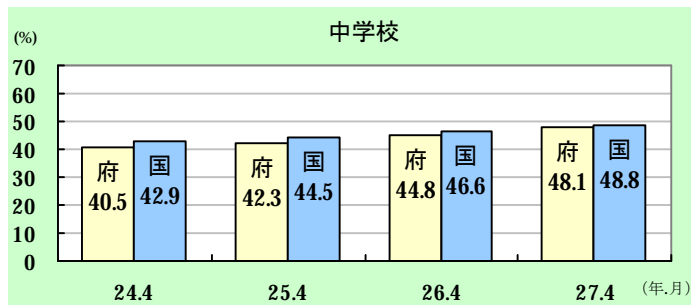
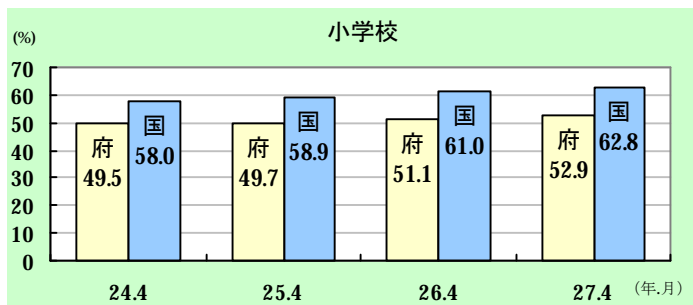
		H22.4			H24.4			H25.4			H26.4			H27.4		
		大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差	大阪	全国	差
小学校国語	A区分	2.8	2.6	0.2	3.4	3.0	0.4	11.2	10.7	0.5	2.6	2.3	0.3	3.9	3.6	0.3
	B区分	5.0	4.2	0.8	7.3	6.6	0.7	14.4	13.6	0.8	10.4	9.2	1.2	6.9	6.1	0.8
小学校算数	A区分	2.6	2.4	0.2	2.2	2.3	-0.1	1.7	1.7	0.0	1.0	0.9	0.1	1.9	1.8	0.1
	B区分	7.0	6.2	0.8	4.7	4.6	0.1	6.4	6.3	0.1	4.6	4.3	0.3	9.2	9.1	0.1
中学校国語	A区分	3.8	2.7	1.1	4.5	3.5	1.0	3.2	2.4	0.8	3.9	3.1	0.8	2.6	2.6	0.0
	B区分	9.8	6.8	3.0	7.3	4.8	2.5	4.3	2.8	1.5	4.9	3.5	1.4	2.5	2.2	0.3
中学校数学	A区分	8.0	6.3	1.7	3.6	2.7	0.9	6.5	5.3	1.2	5.6	4.3	1.3	3.6	3.7	-0.1
	B区分	24.8	19.3	5.5	16.1	13.1	3.0	20.4	16.7	3.7	13.4	10.9	2.5	15.8	15.3	0.5

校種・教科・区分別 無解答率 対全国差経年比較



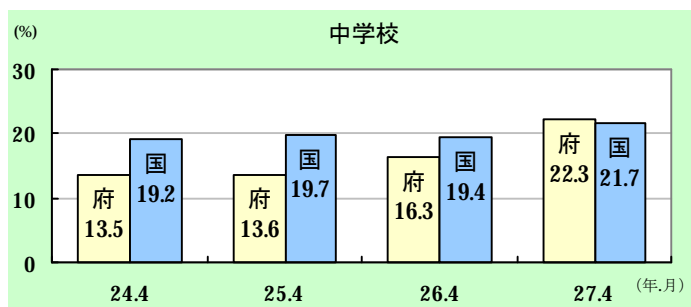
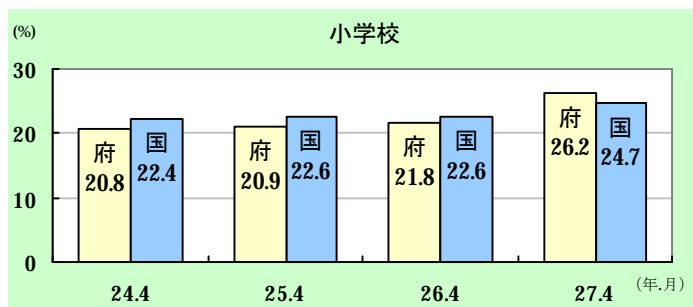
H22、24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む抽出調査)
H25～27年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標3 「家で計画的に学習する」と回答した児童・生徒の割合



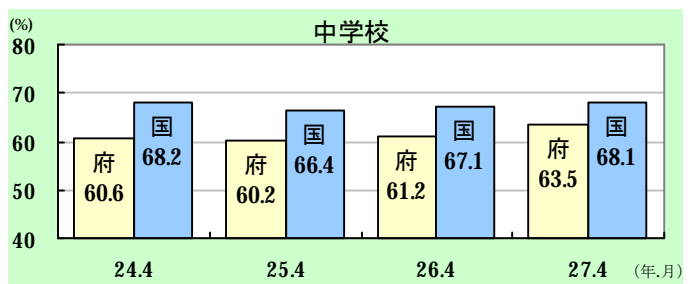
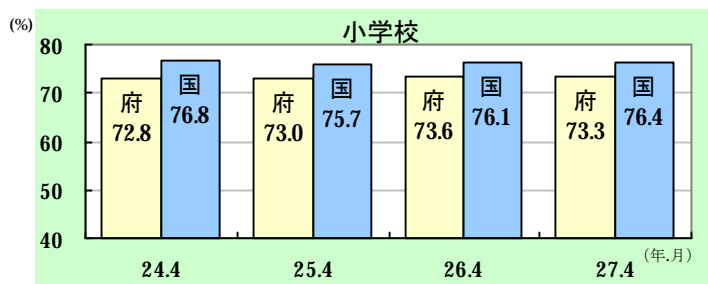
H24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む抽出調査)
H25～27年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標4 「児童・生徒は熱意を持って勉強している」と回答した学校の割合



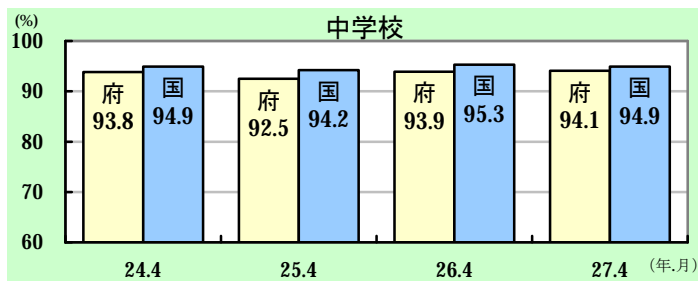
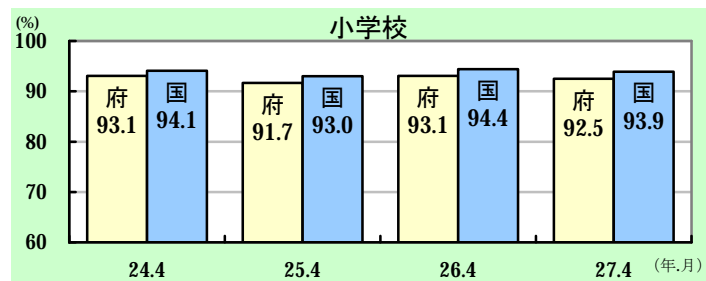
H24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む抽出調査)
H25～27年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標5 「自分には良いところがある」と回答した児童・生徒の割合 (基本方針4 指標27の再掲)



H24年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む抽出調査)
H25～27年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(政令市を含む悉皆調査)

◆指標 6 「人の気持ちがわかる人間になりたい」と回答した児童・生徒の割合（基本方針 4 指標 28 の再掲）



H24 年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
 (政令市を含む抽出調査)
 H25～27 年 文部科学省「全国学力・学習状況調査」
 (政令市を含む悉皆調査)